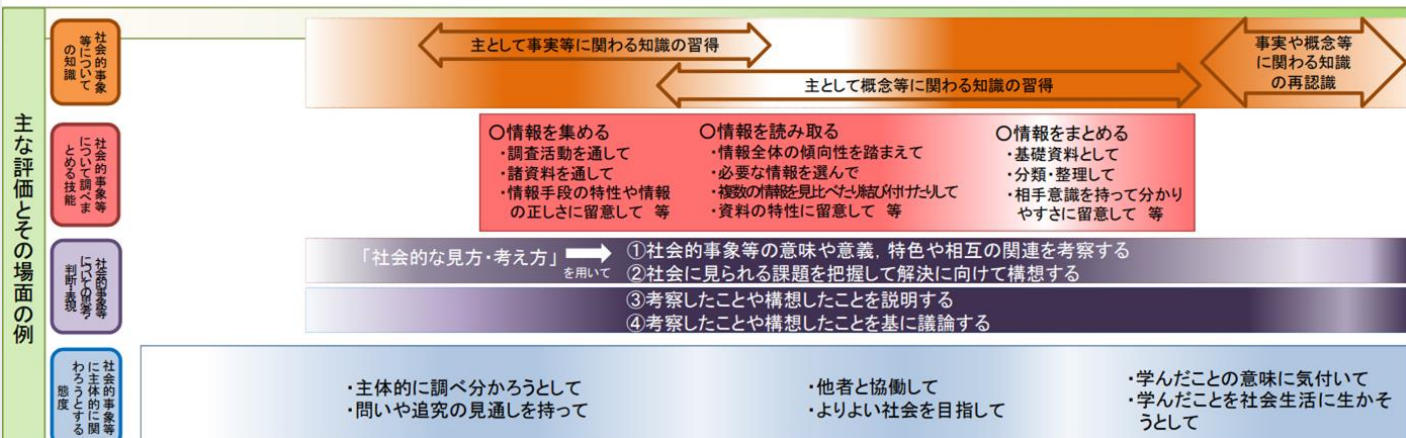
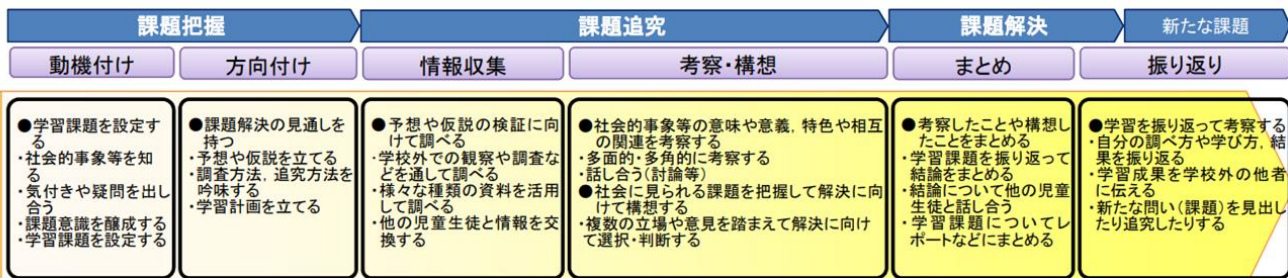
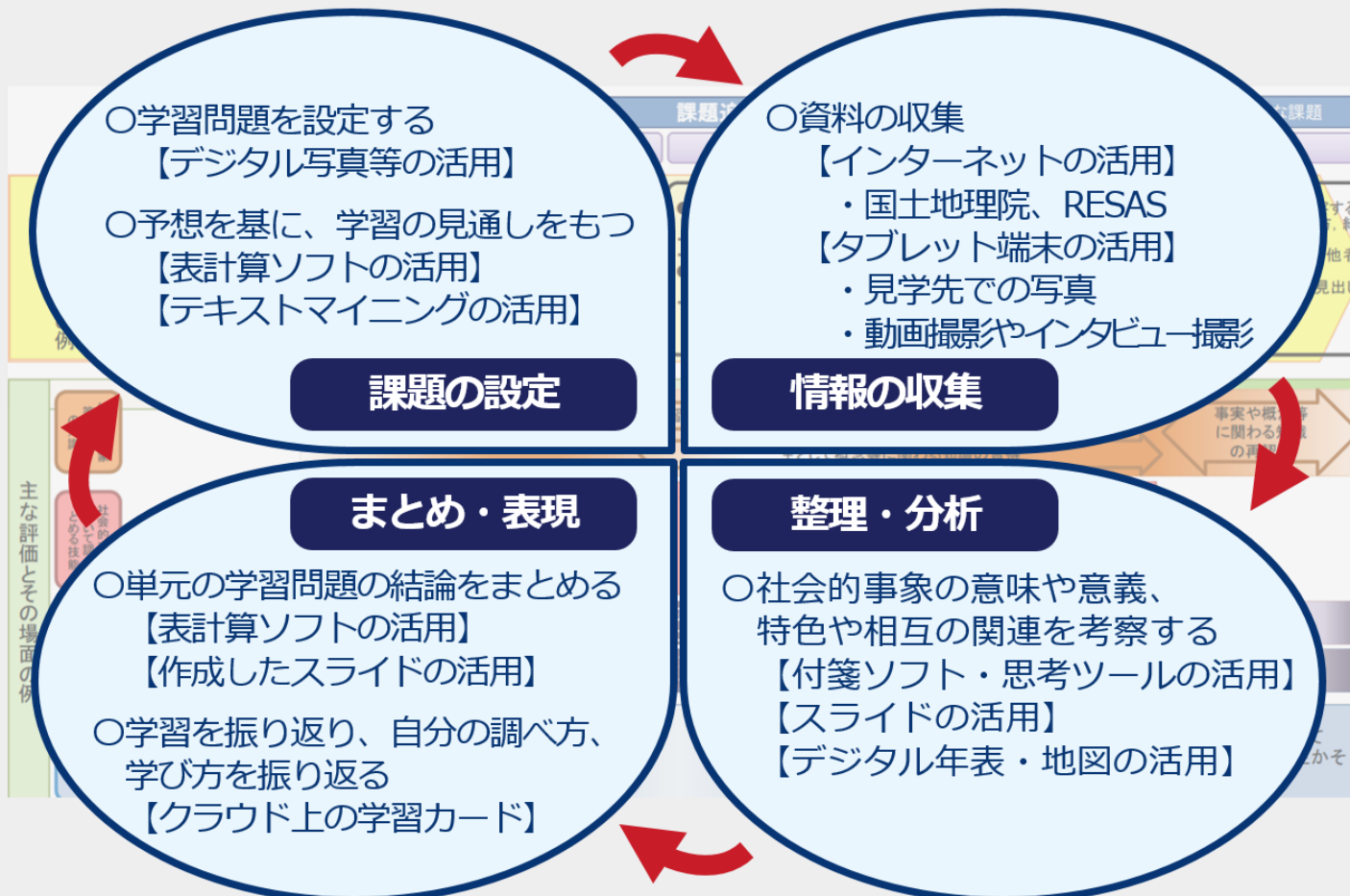


社会科における学習過程



(参考資料)幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について(答申)別添資料

社会科の学習過程における問題発見・解決の過程でのクラウド活用(例)

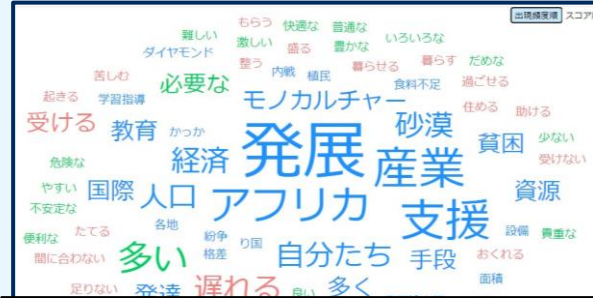


学年・小単元名：中学校1年・アフリカ州

見方・考え方：空間的相互依存作用や地域などに着目して捉え、人間の営みと関連付ける
 ICTの活用：資料から読み取ったことをまとめたり、まとめた内容を関連付けたりする
 学習場面：学習問題の解決に向けて、収集した情報を整理・分析する場面

課題の設定

- クラウド上に保存した資料から読み取ったことや、疑問を共有することで、小単元の学習問題「アフリカではなぜ国際的な支援が必要とされているのだろうか」を設定する。
- アンケートフォームに入力された小単元の学習問題の予想を、テキストマイニングで示すことで、調べる視点を決め出していく。



「自然環境」「産業（経済）」「生活・文化」「歴史」を追究する視点として決め出していく

情報の収集

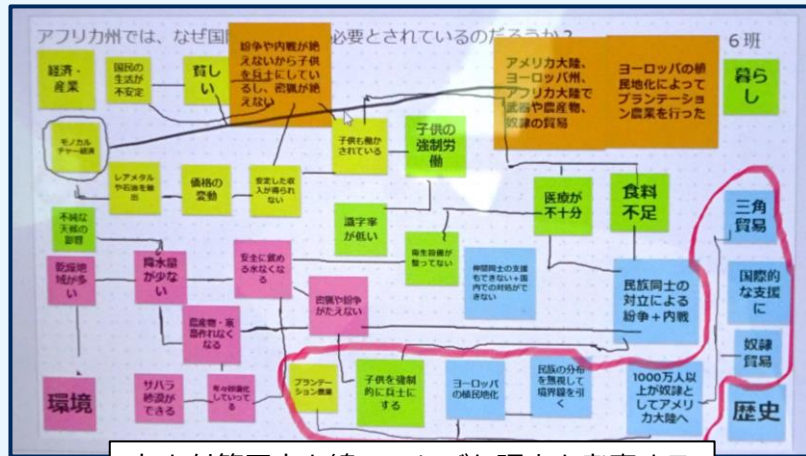
調べる視点をグループ内で分担して、教師がクラウド上に保存したPDF資料や印刷した紙資料から、問題の解決に必要な情報を個人で読み取る。



PDF資料、紙資料から、各自が選択して情報を読み取る

整理・分析

- 調べたことを付箋ソフトに記入し、同時共同編集によって、グループで視点ごとに色分けして整理する。
- 友と話し合いながら、付箋同士の間を整理し、関連のある付箋同士を線でつなぐ。



友と付箋同士を線でつなげた理由を考察する

まとめ・表現

付箋ソフトにまとめたことを基に、小単元の学習問題に対する自分の考えを、表計算ソフトに入力する。



この事例のポイント

個人で調べる場面と、グループで調べたことを共有したり、友と付箋同士のつながりを考察したりする場面を設けることで、自分の考えを広げ深められるようにする。